



職員満足度の高い職場を目指すことで、結果的にサービスを利用される方々の満足度も向上できる職場づくりを 代表理事 平賀 貴幸

早いもので7月を迎えました。いつもとむての森の活動に対してご理解とご協力いただきありがとうございます。

とむての森では各種研修を行いサービスの向上や適切な利用者理解はもちろん、社会人として成長できることを目指して取り組んでいます。

また、職員満足度の高い職場を目指すことで結果的にサービスを利用される方々の満足度も向上できる職場づくりを目指しながら業務の見直しや改善を進めているところです。

取り組みは道半ばではありますが、今後も不断の努力を続けてまいります。

今回、私が講師を務めながら6月25日(日)に自閉症スペクトラム障がいのある方々に対する基本的な対応としてとむての森が柱にすえています「応用行動分析(ABA)の支援について」研修会を実施しました。

今回は基本的なことを改めて確認するということで進めましたので、望ましい行動の「強化」や「消去」の考え方に基づく問題行動への対処を中心に日常の支援や療育の在り方について

**スタッフ募集** 笑顔にする人 なれる人  
詳しくは、電話もしくはメールにてお問い合わせ下さい



実技も取り入れながら学習していただきました。改めて基礎的なことから確認することが大切なのは、熱心にメモを取るスタッフの多さからも明らかでありましたので、今後は改めて事例研修を重ね、2月には何らかの形で事例発表の取り組みができるように各事業所で取り組みを進めて参ります。なお、その際にはご協力をいただく利用者さんや、保護者の方々と事前に相談して許可をいただきながらの実践になります。スタッフから連絡があった際にはどうかご理解とご協力をいただければ幸いです。



## すべてに感謝なのです。

●文/ 弓山祐子

お昼、何たべる？



先日、やっと家族の時間がマッチしたので当麻町にある「かたるべの森美術館」まで日帰りドライブ。

「もじもじワールド+BAAK展」

題名からもワクワク感が伝わってくるのだけれど、やっぱりお目当ては展示されているわが子の「書」を観るため…(ただの親ばかりです)

昨年、展示させていただいた「オホーツクからはじめまして」のときは、こんな絵を描くなんて思ってもいなかったと、孫の作品の前から動かず、じっと見続ける年

老いた両親の後ろ姿を写メに撮りながら、泣きそうになったことを思い出す。

今回は一緒に来れなかった両親のために、せっせと写メを撮る主人と私。

そんなことどうでもいいかのように「おひるごはん、なに食べる?」と笑顔の息子。

絵具に触ることもできなかった息子なのに、手先の不器用さったら天下一品の息子なのに、とむての森のスタッフをはじめ たくさんの方たちのおかげで今こうして息子の作品を観られることに私たち夫婦は、感謝、感謝しかないのです。

昨年開催された「オホーツクからはじめまして」展」会場にて、孫の作品を見る両親の後ろ姿が、大きく見えた。



## 生活支援事業所ほっぷ

文/ 田中豪樹

### 1/240,000,000の奇跡。

季節もすっかり夏になってきました。暑かったり急に寒くなったりと体調を崩しそうな日がありました。【ほっぷ】のみんなは風邪を引くことも無く元気に過ごしています。

【ほっぷ】であった出来事の紹介をしたいと思います。初めてオホーツク若者サポートステーションの方々と一緒に地域の草取りのボランティアに参加をしました。日々の活動では、清掃作業やSAIでの活動etcどちらも「ありがとう」と言って貰えました。

本来「ありがとう」は、仏教用語で「稀少」という意味なんだそうですよ。私は「ありがとう」は人を自然と笑顔に出来る魔法の言葉だと思います。人と巡り合う確率は24万分の1親しくなるのは24億分の1とのこと…奇跡的に皆さんと出会えた事に感謝【ほっぷ】はこれからも皆さんから感謝して頂ける様に頑張っていきます。

たくさんの「ありがとう」が  
つまった支援ツール



「ありがとう」がこだまする  
地域活動



## 移動支援事業所とろっこ

文/ 山川圭一

ひまわりが日に日に背を伸ばすこの頃、いかがお過ごしでしょうか。

移動支援では、普段行っている支援をよりスムーズに行うことができるように、支援ツール(絵カード等)を作成し、支援に臨んでいます。何回か試し成功することもあります。ハマらずに失敗してしまい作り直すことも。利用者さんには迷惑をかけて申し訳ない気持ちと、理解できるまで付き合ってくれて「ありがとう」と感謝の気持ちでいっぱいです。

話は変わりますが、移動支援を利用している成人のMさん。6月から運動不足を解消するために、仕事後に自宅からとむての往復を毎日走っています。汗を流しながら本部に着くと、スタッフ手作りのスタンプカードに印を貰い、中にいるスタッフとお話して帰ります。始めた当初は続かないかなと思っていましたが、予想に反し今でも頑張っています！あの頃とくらべて成長したなあスタッフ一同感心しきりです。

支援に関しまして日時・時間などの変更がありましたら、早めにご連絡をいただけますようお願い申し上げます。

7月は毎日、お客様感謝祭

おかげさまで5周年



1日5食限定 |  
**彩ランチプレート**  
 サラダバー/スープバー付き  
 LOAFおすすめのパンとビーフシチューを中心に、マグロのタルタルとマリネ、グラタンを添えました。5周年の感謝の気持ちを色鮮やかに表現したランチプレートです。



7/1-8 **SMALL SIZE BREAD FESTIVAL** 税別 **75**  
 only! ￥75  
 あんぱんなど、定番商品をミニサイズで期間限定、1個75円(税別)で販売。

**drink service** ☒  
 ランチタイムにお食事された方には、ドリンクをサービス

7/9-22 **DESSERT SERVICE** ☒  
 only! ランチタイムにお食事された方には、デザートサービス

500円以上お買い上げのお客様に  
 割引券や商品券などが当たる **お楽しみ抽選会**

7/23-31 **MEMBERS CARD POINT** **2**  
 only! ポイントが **2**倍

7/29-30 **トッピングいろいろ**  
 only! **ピザパンDAY**

7/24-26-27-28 **日替りで**  
 パンの **中身が 2**倍 **SIZE**



# THANK YOU 5th ANNIVERSARY

**就労支援事業所すてっぷ**  
 文/ 荒谷晴日・佐藤美保

お陰様で、7月5日をもちまして、ローフは開店5周年を迎える事ができました。これも皆様のご支援のお陰と、感謝の気持ちでいっぱいです。  
 5年、あっという間でしたが、たくさんのお客様や関係者の方々、利用者さん達、今まで頑張ってくれたスタッフ達、すべての方がローフを支えてくれたのだと思っています。  
 これからも美味しい料理やパンを楽しめるお店

を目指していきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

今月のローフでは5周年の感謝を込めて『彩(いろどり)ランチプレート』を提供させていただいております。見た目も鮮やかに盛り沢山のプレートになっております。是非、足をお運びください。

また、ローフ5周年イベントも併せて開催しております。詳細はfacebook等でもお知らせをさせていただきますので、ぜひご覧下さい。

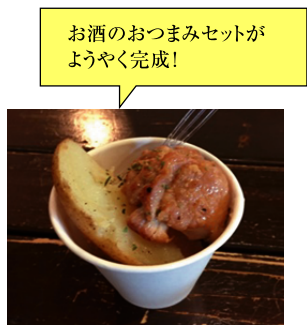
支援の方では…暑い日、寒い日と気温の変化が激しく、体調を崩す利用者さんもありますが、みなさん作業を頑張ってくれています。

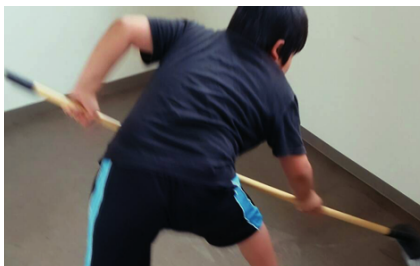
先日、ビールパーティーのおつまみセット、オードブルの依頼などがあり、ポテトフライの仕込みから、揚げたり盛り付けたりとみんな頑張ってくれました。

シフォンケーキやガトーショコラ作りの方も、利用者さん同士で教えたり教えられたり協力しあう事も増え、日々成長していると感じております。

教えること、教わること…繰り返し作り、できた喜びや、自信に繋がるといいなと思いつつ見守っています。

これから暑くなりますので、夏バテなどしないよう規則正しい生活を心掛けていきましょう。





「ありがとう」で生まれる築き、得られるもの。

日中時支援事業所 つくしんぼ  
文一 菅波大輔

しゅんこうハウスで実施している通貨制度も導入から2か月が経ちました。最初は張り切ってツクを貯めていた子が貯めなくなったり、その逆に初めはシステムをいまいち把握してなかった子が今ではとても積極的に張り切ってツクを稼ぐなど、個別に掘りが見られるようになっていきます。

この活動を通して特に印象に残っているのが、擬似的なものとはいえず「うちの子が働いて何かを得られるなんて！」という喜びの声を保護者の方からいただいたことでした。家族が喜んだことで、当の本人のさらなる励みにもなったそうです。

自身が何かを為したことによって生じる外部からの喜びの声というものは、人を成長させる大きな要因の一つであると改めて実感した瞬間でもありません。

「小さい事を積み重ねるのがとんでもないところへ行きただ一つの道」とイチャローが言っていたように、日々の小さな経験や学習が、やがて社会に出たときに大いに生きていくものだと思っています。

様々な人や場所などと繋がりを持ち、たとえどんなに小さな事でも生じる周囲からの「ありがとう」が、人を成長させていくものだと思った出来事でした。



放課後等デイサービス **ぽっくる** (開設準備中) **8月** 活動体験予定表

※毎週土・日曜日はお休みです。

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
* *	* *	1 公園でゴミ拾い	2 ウォーターパークへ行こう!	3 SST 「自分を好きになろう」	4 てんとランドへ行こう!	5 お休み
6 お休み	7 朗読	8 冷やし中華 (100円)	9 お祭り (200円)	10 汽車に乗ってみよう! (700円程度ご用意下さい)	11 お休み	12 お休み
13 お休み	14 自由遊び	15 自由遊び	16 グループワーク練習	17 量りの練習 脳トレ	18 電話練習	19 お休み
20 お休み	21 掃除練習	22 SST 「相手の気持ちを想像しよう」	23 裁縫	24 豆腐サラダ (100円)	25 おつかい 金額とメモのご用意をお願いいたします	26 お休み
27 お休み	28 グループワーク	29 布巾を洗ってみよう!	30 ウォーキング	31 身だしなみの整え方について勉強しよう	* *	* *

放課後等デイサービス事業所 **ぽっくる** 文/ 青山尚実

頑張っている子供たちを見ると嬉しくなる



夏休みもあと少しで突入ですね!!

子どもたちも今から楽しみな様子で、夏休みの予定をスタッフに話してくれています(^\_^)

さて、夏休み前にはオホーツク社会福祉専門学校子ども未来学科から6名の実習生の方々が来てくれました!! にんぐる、のーむがメインでしたが、ぽっくるにも何度か来てくれました。実習生には慣れているとむての子供たちですが、実習生という新しい風が入るとやっぱり子供たちは嬉しそうで、いつもよりも手洗いうがいもしっかりと、お友達同士の喧嘩もしなかったり、苦手なSSTも頑張って取り組んで良いところを見せていましたよ(\*^\_^\*)

頑張っている子供たちを見ると嬉しくもなり、やっぱりちゃんとできるじゃん!!...なんて思ったり(笑)複雑な気持ちのスタッフでした(^\_^);夏休みは、人前でお話するのが苦手な子もいるので、新たに「朗読」の日を組み込んでみました!

自分の気持ちを言うのは苦手だけど、書いてあることを読むことで少しずつ人前でお話する事に慣れてもらえたらいいなと思います(\*^\_^\*)

ホームヘルプサービス事業所 **どんぐり** 文/ 向井章人

プールや買い物等の外活動も落ち着いて過ごしている。



気温が高くなり、皆さん体はバテてはいませんか? 行動援護の利用者さんは調子に波がある

ようで急にイライラしてしまったり、急に泣き出してしまう場面が稀に見られるが、作業は集中できるようにハイペースにアルミ缶を踏んだり、プールや温泉・買い物等の外活動も落ち着いて過ごすことができています。

皆さんから寄付をして頂いたアルミ缶いつも大切に使用させて頂いております。

アルミ缶以外の物の混入、虫・カビの発生も減りました。皆さん、ご協力ありがとうございます。

利用者さんの缶踏みもペースが想像以上に速く、アルミ缶の在庫が減ってきている状態ですので引き続きアルミ缶の寄付、お待ちしております。

昨年の7月13日を最後にアルミ缶の回収をストップしている状態です。約1年、貯めに貯め続けたアルミ缶をとうとう6月28日(水)に業者の方に回収してもらうことになりました。この結果は次回の会報で発表させていただきます。

**思いやりの気持ちがあって  
感謝になる** 文/ 伊藤栄一

感謝の気持ちは言葉と表現(表現)によって初めて相手の心に響く。口先での「ありがとう」は、相手にもその薄さ・軽さが100%伝わっているのではないのでしょうか。

日本には、「言霊」という言葉にプラスαで乗せる・宿すものがあるが、言霊の宿っていない言葉は相手に感動も届けられず、果ては「思いやり」という目に見えない絆や信頼関係に繋がらない。

別に哲学や宗教の話をしているわけでないが、生きて行く上で思いやりは必要なことだ。社会や人と関わる中で感謝の気持ちは常に持たなければならぬ。人間は考える動物と言われているが、この感謝を表現できない・伝えられないのは退化しているか自己中心的な証拠だ。

「ありがとう」と言う言葉は時に恥ずかしくなることもあるが基本的に何回言われても嫌な思いはしない。嫌悪感を感じるのには、言い方や態度が悪い。アトリエでは、アーティストの創作活動を見ていると時々「ありがとう…」と聞こえてくる。何かと思って見てみると鉛筆や消しゴムを近くで友達が取ってくれたようだ。その後も少し眺めているとお互い照れ臭そうに微笑んでいたりと、嬉しくてテンションが上がりが大きな声を出している。その光景は、とてもホッとする瞬間。

展示会の時にも不思議な現象が起きることがある。来場者がじっくりと鑑賞し、帰られる時に「ありがとう」と言って行くことがある。こちらも「ありがとうございました」と言っているところにカブって言うてくるのだ。理由を伺うと「良い作品を観せてもらったから」と言われた。後日、アトリエでアーティストにそのことを伝えるとみんな嬉しそうに喜んで、創作に力が入る。時に、それがきっかけで新しい作品が生まれる。

感謝の代表格である「ありがとう」は最強ワー

ドだ。しかも万国共通で存在する言葉で人種が違っててもプラスな気持ちになる魔法の言葉。子供に一番最初に教える相手への感情を表す言葉が「ごめんさい」と「ありがとう」。大人よりも子供の方が言霊の乗っている本心の表現できている。大人が熱心に教えているこの「ごめんさい」と「ありがとう」は、きっと大人たちが成長する中で、この言葉を言えずに苦労した経験から、大人たちは教訓として子供のうちから教えているのだろう。

友達や家族で「ありがとう」が言えないと、その内喧嘩になる。結局、そこには愛情があるので、その内仲直りする。だが、これを会社や一般社会でやってしまうともうお終いだ。会社でやらかしてしまう人の常套句は「汲み取って欲しい」、「わかかって欲しい」等の「欲しい欲しいの依存症」だ。自己中心的な魔物なのだ。

時代が繁栄し、IT技術が発達しても結局は「人と人の繋がり」が重要なのだ。「他人は自分を映す鏡」。悪態をつけば、結局自分を苦しめることになる。因果応報である。

**手作り雑果専門店SAI 2周年祭**  
**SAI 2th ANNIVERSARY**



| date | 2017.07/21 fri・22 sat  
 open 10:30 close 17:00

| place | SAI 店舗前駐車場  
 北海道北見市西三輪3丁目746-27 TEL.0157-33-5025

| event | 移動販売車(保冷車)での販売をいたします。  
 オリジナル雑貨・野菜加工品・パンetc  
 通常価格より10円引き

[ ・やきとり(1本) ¥80 ・焼きそば ¥200 ]  
 [ ・フランクフルト ¥200 ]

◎やきとり(2本)・フランクフルト  
 焼きそばをセットで ¥500



5月、6月は運動会・・・7月は花火に夏まつりとイベントが沢山ですね。

またトマトにきゅうり、なす、ピーマンと夏野菜を中心に、地元野菜を中心に地元野菜が沢山出回る季節ですね。SAIでも10種類ほどの「こんねのやさい」が並んでいます。畑では、ジャガイモの花が咲きだしそろそろ新じゃがもでてくる頃でしょうか？昨年、台風の影響を受けたジャガイモ・・・今年は何山収穫出来るといいのですが.....

手作り雑果専門店SAIは、この度、皆様のおかげで無事2周年を迎える事が出来ました。つきましては2周年を記念致しまして7/21(金)・7/22(土)の2日間、2周年祭を開催します。2周年祭を記念致しまして感謝をこめてオリジナル雑貨や新鮮野菜、焼きたてのパンを通常よりもお安くご提供致します。是非お近くにお越しの際はお立ち寄り下さい。スタッフ一同心よりお待ちしております。

文/ 佐藤千鶴子



**初の売買となり、本人もご家族も大興奮。** 文/ 伊藤栄一



6月は、3名のアーティストの作品が売れました。今回は、清尾あかりさん、千葉真弘さん、鈴木僚介さんが各1点ずつ選ばれました。ご購入者様は、津別で私設ギャラリーをオープン予定の方で、今夏から営業をするそうです。

今回の3名は、初の売買となり、本人もご家族も大興奮だったようです。studio プレメンでは、売買に力を入れている訳ではありません。

たまたま、購入希望者が現れ、作品を購入したい想いを伺い、大切にしてくれそうな方のみお譲りしています。

なので、価格も購入者の希望価格からの折衝になります。最近では、購入したいがどこでできるのか分からないとのことなので、年末か年明けに展示売買会を試しに開催してみようと思います。

それはさて置き、今回の売買は作家にとって意義のあるものだったようです。売買以降、作品作りに対する姿勢が変わり、集中して丁寧に作品作りに没頭しています。



6月の「morph-tokyo」掲載は上村隆輔さん。東京のライブハウスが発行する月刊誌5月号の表紙は、専属契約作家「上村隆輔」さんの絵画が飾りました。



文/ 伊丹 勝

季節は、初夏を迎え夏らしい天気恵まれず、体調を崩しがちですが、皆さんどうお過ごしですか。こんねの畑では、少し野菜の成長が遅い様子です。今年も昨年に引き続き、美幌の畑にカボチャ三千株を定植しました。

調理用トマト「たきこま」という品種500株を今年新たに北見の小泉に一棟ハウスを借り栽培しています。この調理用トマトは、北見にある「たまごのじかん」という飲食店へ収穫したトマトは全て納品の契約をしています。

今年から利用者さんも一名増え意欲的に作業しています。毎年少しずつですが、皆さんのご協力と支援のお陰で成長することが出来心より感謝しています。



野菜たちの成長と、わたしたちの成長を、重ね合わせながら。

\*\*\*\*\*


**[前編のあらすじ]**日本のプロレス界だけではなく格闘技界をも代表するジャイアント馬場とアントニオ猪木。それぞれ団体を立ち上げプロレス界、格闘技界をけん引してきた両者であったがついに対決は実現せず。なぜ両者の対戦は実現しなかったのか、菅波が考察する要因として、

- ①馬場サイドにうま味がない→試合をして馬場が勝ったところで馬場の評価が大きく上がることも無く、むしろ引き分けや敗ける事で下がるリスクの方が大きい。
- ②猪木が内容を反故にするおそれがあった→両者間で事前に内容を取り決めていても、いざ本番になると猪木サイドが翻す可能性があった。
- ③代理戦争による格付け→馬場＝全日＝日テレ＝読売＝保守派と猪木＝新日＝NET(現テレ朝)＝朝日＝革新派の間に不等号がつくおそれがあった。 といった内容のものを挙げました。対決が実現しなかった経緯や両者の存在を通して、菅波は何を訴えたいのか？

「その「事実」は「真実」なのか？(後編)」



絵:DAISUKE SUGANAMI

連載 |  菅波大輔の言いたいことを言うコラム VOL.04

(前月号より続く)以上の点から両者は「闘わなかった」というよりは「闘えなかった」という方がしっくりくるのではないかと思います。

色々なしがらみのせいで実現はなりませんでしたが、もしかしたらどちらも本音では『ガチでやりあいたい』という思いはあったのかもしれない。

また対戦が実現しなかった事で、ファンはいつまでも「どちらが強かったのか？」という談議に花を咲かせることが出来ます。実に見たかったカードではありますが、個人的には闘わなくて良かったのかなあと思うところです(リアルタイムで見てた世代ではないですけどね)

と、ここで僕が言いたいのは『馬場と猪木が闘わなかった』という「事実」が「真実」として補完

されるのはどうなのだろうかという事です。「事実」とはある事象における客観的要素を持った一つの点であり、「真実」とは「事実」の集合体の線や円…すなわち物事の背景であり真相であると僕は考えています。当時は猪木が一方的に馬場との対戦を熱望しており、時には行き過ぎた挑発がありながらも馬場は最後まで首を縦に振る事はありませんでした。そのような経緯からも「猪木の挑戦を受けない馬場は臆病者」という声も少なくはなかったでしょう。

ですがファンであればなおの事「闘わなかった」という事実で終わらせるのではなく、なぜ「なぜ闘わなかったのか？」を突き詰めていくべきであり、それによって知りえなかった背景や問題の本質に辿り着けるのではないかと僕は思います。

物事の判断とは一つの事実だけを全てとして捉えず様々な角度からの視点で事象を捉え、容易に「こうである」と決めつけずに一呼吸置くことも兼ねて複数の事実を土壌として築いてから行うべきではないでしょうか？

余談ですが某とむでの森のスタッフが小学生の頃、とあるレスラーにサインをお願いしたところ「欲しければ1万円よこせ」と言われたそうです。

無垢な少年に突き付けられた非情な現実.....その後少年が決意した事とは？

また、いたいけな少年に現実を突きつけたレスラーの正体とは？

その正体が気になる方はとむでの森までお問い合わせください。

**放課後等デイサービス事業所  
にんぐる** 文/ 中島 計樹

当たり前に行っていた支援、  
改めて考えるいい機会に。

7月に入り、すっかり夏らしくなっ  
てしまいましたね。もうすぐ、夏休みもあ  
ります。

補給等に気をつけて、楽しい夏休  
みを迎えてください。

さて、こうえんハウスにオホーツク  
社会福祉専門学校子ども未来学科の  
学生さん達が実習に来てくれました。  
実習生さんに、たくさん遊んでもら  
っている子供達は、大喜びでした。ま  
た、スタッフより、実習生さんの方に

「こころだよ！」等、色々教えてく  
れていた子供達でした。中には、「〇〇  
さんと帰りたい」等、スタッフには、  
普段言ってくれない言葉がでたり  
していましたよ。また、実習生さん  
に指導する際、いろいろな質問を受  
け、普段は当たり前に行っていた支  
援などにも、改めて考えるとよい  
機会になりました。

この度は、お忙しい中、実習させて  
頂き、本当にありがとうございました。  
日々子供たちと真摯に向き合う職  
員の方々の姿には、感銘を受けまし  
た。障がいがある子ども達の支援は、  
未来を見据えた支援ではないこと、  
そのために、今、持っている力を最  
大限に活かす支援が必要であるこ  
とを学ばせて頂きました。更に、  
このような施設が、親御さんにとっ  
ても、支えになっていることを、改  
めて実感させられました。  
オホーツク社会福祉専門学校  
子ども未来学科 西迫 朝美

実習生の方からいただいたメッセージ

実習では様々な発達の特徴を持  
った子ども達に対する援助を学ば  
せてもらいました。集団活動が苦  
手な子どもに対して根気強く声掛  
けする大切さや、繰り返し良く関  
わって行くことで生まれる子ども  
との信頼関係の大切さを感じまし  
た。これからも、実習で学んだこ  
とを生かして努力していきたいで  
す。  
オホーツク社会福祉専門学校  
子ども未来学科 轡田 真治

**放課後等デイサービス事業所  
の〜む** 文/ 寺澤絵奈

優しく遊んでくれる学生さん達に  
子供たちも大喜び。

今年の夏は猛暑と言われていますが、みなさん  
はいかがお過ごしでしょうか？我が家にもそ  
ろそろエアコンがほしいなあと思ながらも、

何とか扇風機で頑張っております(\*ω\*)朝晩の  
気温差が激しい日もありますので、体調を崩さ  
ないように気を付けましょうね！！

5月〜7月にわたり、オホーツク社会福祉専門  
学校子ども未来学科の学生さん達が3名実習に  
来てくれました。優しくたくさん遊んでくれる  
学生さん達に子供たちも大喜び！！『〇〇さん  
一緒に遊ぼう』『〇〇さん明日も来る？』と毎日

とても楽しみにしていました(≥▽≤)  
さすが保育士を目指している学生さん達！！子  
ども達と接するのも、とても上手でしたよ。実  
習生さんが来ると、私たちスタッフも良い刺激  
を受けます！！普段は当たり前に行っていた支  
援などにも、『これはどうして〇〇してるん  
ですか？』と質問をされると、改めて考えると  
とてもよい機会になります。

放課後等デイサービスにんぐるの〜む **8**月の予定表  放課後等デイサービス事業所にんぐるの〜む 毎週土・日曜日はお休みです。

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
* *	* *	1 水風船で遊ぼう！	2 ウォーターパークへ 行こう！	3 すいか割り (100円)	4 てんとランドへ 行こう！	5 お休み
6 お休み	7 アイスを買 いに行こう！ (500円をご用意下さい)	8 工作(50円)	9 夏祭り(200円)	10 シャボン玉	11 かき氷(100円)	12 お休み
13 お休み	14 自由遊び	15 自由遊び	16 お掃除体験	17 お散歩	18 お誕生日会 (100円)	19 お休み
20 お休み	21 ポップコーン (100円)	22 公園	23 テーブルゲーム	24 シールで遊ぼう！	25 プール	26 お休み
27 お休み	28 お散歩	29 お手伝い しよう！	30 ポテトサラ ダ(100円)	31 昔の遊びを しよう！	*	* お休み

平成29年度 新入会員様

私たちは皆様のご協力  
福祉活動を行っています。  
心から御礼申し上げます。

◆正会員 (議決権なし/寄付金あり)

・松下 亜紀江

◆会員 (議決権なし/寄付金なし)

・石井 みか ・西島 和美

◆賛助会員

・平泉 金蔵 ・佐藤 和恵  
・平泉 和子 ・寒河江 春美  
・平泉 美智子

(6月末日現在/順不同、敬称略)

●会員募集



- ・とむての森のサービスを利用してみたい方。
- ・ヘルパーの仕事してみたい方。
- ・応援して下さる方

正会員 7,000円/年 (総会議決権あり)  
会員 2,000円/年 (総会議決権なし)  
ボランティア 2,000円/年 (総会議決権なし)  
賛助会員 一口 3,000円/年 (総会議決権なし)

※詳しくはお問い合わせ下さい



日々、勉強なのです。

文/ 弓山祐子

6月25日(日)19:00より第5回とむての森スタッフ研修会を行いました。今回の研修テーマは「ABAについて～いまいちど共有しよう～より良い支援のために・・・」と題し、法人が支援の柱としているABA(応用行動分析)について勉強しました。これまでも何度か繰り返して学んでいる内容ですが、ベテランスタッフにとっては原点に立ち返る振り返りの時間となり、新人スタッフ

にとってはこれから取り組むべき支援の基礎を学ぶことで、スタッフ全体が統一した支援をするをを目指します。

講師はABA療育を極めた平賀代表、多忙中、時間をやりくりし、実践も交えながらスタッフにわかりやすく伝えてくれました。感謝。次回の研修会は、今回の研修の実践報告の予定です。各スタッフの頑張りに期待しています。



今月もみなさまから  
寄贈をしていただきました。  
ご協力に感謝しています。  
ありがとうございます。

(とむての森 スタッフ一同)

- 小野寺 美穂 様  
・おもちゃ
- 白石 由美 様  
・ティッシュペーパー
- 西川 美由紀 様  
・アルミ缶、ティッシュペーパー
- 宮林 幸子 様  
・ティッシュペーパー・トイレトペーパー
- 久保田 寿広 様  
・牛乳パック
- 柴山 ひみ子 様  
・アルミ缶
- 瀬口 春華 様  
・アルミ缶・トイレトペーパー  
・ティッシュペーパー
- 小椋 利枝 様  
・ティッシュペーパー・本・じゅたん  
・ラグマット
- 葛木 有希子 様  
・牛乳パック
- 馬淵 由美 様  
・アルミ缶・トイレトペーパー  
・ティッシュペーパー・ボトルキャップ
- 本田 千鶴子 様  
・アルミ缶
- 鈴木 磨美 様  
・リングブル
- 中村 洋子 様  
・アルミ缶
- 安藤 初男 様  
・ゆで卵
- ローソン北見ひかり野店 様  
・牛乳パック
- 佐藤 志津 様  
・塩

寄贈の  
お願いです!!



古い絨毯を探してます

法人駐車場の出入り口に敷くための古い絨毯を探しています。買い替えをご検討されているご家庭はありませんか?雨の日、駐車場の土の流出を防ぐために活用します。よろしくお願いたします。

不要になった空気入れ

車いすや自転車のための空気入れを探しています。不要になった空気入れはありませんか?寄付をよろしくお願いたします。

古いタオルやシーツ

法人で使用するウエスが不足しています。古いタオルやシーツなどの寄付をよろしくお願いたします。

いつもトイレトペーパー・ティッシュペーパー・タオル等のご寄付をいただき、ありがとうございます。引き続きどうぞよろしくお願いたします。

夢の貯金箱

わたしたちは日本財団「夢の貯金箱」を  
応援しています。



●日本財団様が運営している「夢の貯金箱」は、みなさんの「夢」を集めて大きくし、本当に支援を必要としている人たちに届ける貯金箱です。(日本財団パンフレットより)

とむての森では本部隣のベーカリーカフェ ローフ前に「夢の自動販売機」を設置しています。この自動販売機で飲み物を購入すると、1本につき10円が、夢の貯金箱に寄付される仕組みとなっています。みなさん、近くにお越しの際は、ぜひご協力をお願いたします!

日本の買物でだけかを幸せにするしくみ

イオン 幸せの黄色いレシート

since 2001

買物 → レシート → 選ぶ → Lv. 幸せ!!

●とむての森はイオン北海道(株)イオン北見店様の「イオン・デー」に実施されている「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」に登録をさせていただいています。毎月11日は「イオン・デー」です。イオンで買物をして、黄色いレシートを「とむての森」のBOXに入れてください!! よろしくお願いたします。

TOMUTE NO MORI NETWORK



ふれあい@とむてホーム

・本部・ホームヘルプサービス事業所「どんぐり」・移動支援事業所「とろっこ」・就労支援事業所「すてっぷ」  
・ふれあいホーム「のびのび」1号館・地域たすけあい&とむてサロン「きっじゅ」

北海道北見市公園町166番25 TEL.0157-32-8715 FAX.0157-32-8716  
携帯 080-1892-4918 MAIL tomute-m.agate@docomo.ne.jp

ふれあい@あったかホーム

・ベーカリーカフェ ローフ・生活支援事業所「ほっぷ」・studioプレーメン・ふれあいホーム「のびのび」2号館  
北海道北見市公園町166番29 TEL.0157-32-8715 FAX.0157-32-8716

ふれあい@しゅんこうハウス

・日中一時支援事業所「つくしんぼ」・ふれあいホーム「のびのび」3号館  
北海道北見市春光町1丁目24-9 TEL.0157-32-8715 FAX.0157-32-8716

こうえんハウス

・放課後等デイサービス事業所「にんぐる」・相談支援事業所「リーふ」  
北海道北見市公園町137番48 TEL/FAX.0157-22-8771

ほくおうハウス

・放課後等デイサービス事業所「のーむ」  
北海道北見市中央町90番地8 TEL/FAX.0157-24-8003

みわハウス

・生活支援事業所「ほっぷ」・手作り雑貨専門店SAI  
北海道北見市西三輪3丁目746-27 TEL.0157-33-5025

